

## ベリーズ犯罪等発生状況（令和7年5月分）

### [殺傷事件・銃撃事件関連]

5月1日【銃撃事件】 午後8時頃、ベリーズ市コニードライブにおいて、男性（61歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、バイクに乗った2人組の男らが被害男性に近づき、突然発砲した。その後、男らはサンライズ・アベニュー方面へと逃走した。被害男性は現搬送先病院で死亡が確認された。警察による捜査が続いている。

5月3日【刺傷事件】 午後4時頃、ベリーズ市ユーフラテス通りにおいて、未成年の少年（16歳）が刺される事件が発生した。警察によると、少年は友人と一緒にビンホン・ストアの前で別の男性と口論になり、二人がかりで男性を殴ったところ、男性は所持していたナイフを取り出し、少年の腹部を刺した。その後、駆けつけた警察官により少年はKHM病院へ搬送された。

5月3日【銃撃事件】 午前9時30分頃、ベリーズ市クロトン・レーン付近において、ギャング組織PIVブラッズのメンバーであるジミー・ロハスが銃撃され負傷する事件が発生した。ロハスは反対勢力のギャング組織のメンバーが乗る車両から発砲を受け負傷した。警察によると、ストリートギャング組織のバックアランド・クリップスに所属する3人を殺人未遂の容疑で逮捕した。警察は、反対勢力であるPIVブラッズとの報復抗争に発展する可能性があるとし、武力行使によって鎮圧する考えを示した。

5月5日【銃撃事件】 午前6時頃、ベリーズ郡ダブル・ヘッド・キャベジ村の住宅において銃撃事件が発生し、男性（37歳）が死亡した。警察によると、近隣住民から発砲音がすると通報を受け、警察官と救急隊員が現場へ急行したところ、銃撃された被害男性の遺体を発見した。この被害男性はベリーズ市のギャング組織メンバーとして知られており、警察は今回の襲撃はギャング組織間の抗争によるものと見ている。

5月6日【銃撃事件】 午前8時頃、ベリーズ市エボニー通り付近において銃撃事件が発生し、男性（31歳）が死亡した。警察によると、死亡した男性は娘を学校に送り届けた直後に襲撃された。また警察は、この男性は地元ギャング組織と繋がりがあり、今回の事件は前日にダブル・ヘッド・キャベジ村で発生した銃撃事件の報復行為と見ている。

5月7日【銃撃事件】 午後7時頃、コロザル町付近のフィリップゴールドソンハイウェイ上で男性（34歳）が銃撃される事件が発生した。警察によると、被害男性は通り沿いを自転車で行っていたところ、近くに潜んでいた何者かにより複数の銃撃を受け、負傷した。

被害男性は通報を受けて駆けつけた警察官によりオレンジウォークの北部地域病院へ搬送され治療を受けている。銃撃犯は依然として逃走しており、警察が捜査を続けている。

5月9日[銃撃事件] 正午頃、ベリーズ市のハンターズレーン付近において、銃撃事件が発生し男性（26歳）が死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性はサンペドロ町の水陸タクシーの船長で、友人と一緒にベリーズ市の知人からオートバイを購入するためにハンターズレーンへ向かう途中、銃撃に遭った。後の捜査でこの事件の容疑者2人が逮捕されている。

5月10日[銃撃事件] 午後11時50分頃、カヨ郡ブラックマン・エディ村のバーにおいて、4人が負傷する銃撃事件が発生した。警察によると、母の日イベントが行われていたバーに、屋外から散弾銃が放たれた。飛び散った散弾で場内の来場者4人が負傷した。被害者のうち数名は治療後退院し、1名は入院中。警察は目撃情報を収集するとともに、引き続き事件を調査している。

5月21日[銃撃事件] 午後6時30分頃、カヨ郡サンタエレナ町の住宅において、銃撃事件が発生し男性（41歳）が負傷した。警察によると、被害男性は自宅の庭で作業中、バイクに乗った2人組が近づき突然銃撃した。被害男性は左太ももに被弾しサンイグナシオ病院へ救急搬送された。銃撃犯は依然逃走中である。

5月22日[切りつけ殺傷事件] 午前2時30分頃、カヨ郡バレー・オブ・ピース道において、トラック運転手の男性（32歳）が死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性はサトウキビを積んだトレーラーをトラックで牽引していたところを襲撃され、マチェーテ（三刀）で切り刻まれた。駆けつけた警察が運転席からマチェーテと血痕を発見し、付近を捜査したところ、茂みの中から複数の切り傷のある被害男性の遺体を発見した。引き続き警察による捜査が行われている。

5月24日[傷害事件] 午後8時頃、オレンジウォーク町のクイーン・ビクトリア通りでの男性が（59歳）が流血する傷害事件が発生した。警察によると、フレンドシップ・レストラン前で頭から血を流した男性が倒れているとの通報があり現場へ急行した。警察が到着すると、意識のない被害男性を発見し、北部地域病院へ救急搬送した。警察は被害男性は何者かに鈍器で頭部を殴打されたと見て、捜査を続けている。

## [強盗事件・窃盗事件関連]

5月1日[強盗事件] 午後2時30分頃、ベリーズ郡ローズバンク村の商店において、武装した男らによる強盗事件が発生した。警察によると、銃を所持した覆面の男2人組が店舗の裏口から侵入し、銃で店主を脅して売上金と酒類、タバコ、スマートフォン2台を盗んだ。引き続き、防犯カメラの映像を確認し、警察が捜査をしている。

5月2日[強盗事件] 午後1時頃、ベリーズ市アルバート通りの住宅において強盗事件が発生した。警察によると、被害男性(85歳)がホーリー・リデンプター信用組合で現金を引き出し、帰宅直後に襲撃された。自宅の玄関ドアを開けようとしたところ、背後から白いTシャツを着た男に割って鋭利になった瓶で脅され、BZ\$800(約5万8千円)と身分証明書類等を強奪された。警察は事件の捜査を続けている。

## [違法薬物・違法銃器類関連]

5月2日[クラックパイプ所持] 午前9時頃、ベリーズ市マリーゴールド・レーン在住の男性(37歳)がクラックパイプ所持の容疑で出廷した。事件は、5月1日の昼前頃、被告男性がクラックパイプを所持しているところを警察が発見し逮捕した。法廷で被告男性は、クラックコカインを吸うために所持していたことを認め、BZ\$205(約1万4千円)の罰金が科せられた。

5月2日[違法薬物所持] 午前10時頃、ベリーズ市セント・マーチンズ・デ・ポレス地区在住の男性(41歳)がクラックコカイン所持の容疑で出廷した。事件は、5月1日の午後、クラン通りを歩いていた被告男性が警察官を見るなり所持していた薬物を排水口へ投げ捨てた。これを見ていた警察官が排水口からクラックコカインを回収し、男性は逮捕された。法廷で被告男性は、クラックコカインの所持を認め、205BZ\$(約1万4千円)の罰金が科せられた。

5月5日[違法薬物の密輸] 午前9時頃、ニューヨーク州ブルックリン在住のアメリカ人歯科医の男性(27歳)がベリーズに大麻を持ち込んだ容疑で出廷した。事件は、5月4日にフィリップゴールドソン国際空港に到着した被告男性のポケットから24グラムの大麻が発見され、逮捕、起訴された。法廷で被告男性は、休暇のためにベリーズを訪れ、10グラム以上の大麻の持ち込みが禁止されていることを知らなかったとしつつ、早期に自身の罪を認めた。被告男性にはBZ\$305(約2万2千円)の罰金が科せられた。

5月6日[銃器類の違法所持] 午後1時頃、ベリーズ郡ガーデニア村在住の男性(44歳)が許可証のない銃器を所持していた容疑で出廷した。事件は、5月5日の午前9時頃、被

告男性が同村の住民を銃で脅した。その後、通報を受けて駆けつけた警察官に逮捕され起訴された。法廷で被告男性は銃器類の所持を否認し無罪を主張したが、判事は無許可での銃器類所持は重罪であるとし、ベリーズ中央刑務所への収監を命じた。

5月14日[**違法薬物及び違法銃器類の大規模摘発**] 同日午後の記者会見で、ベリーズ警察は国内において違法薬物と違法銃器類の大規模な摘発を発表した。同会見でリチャード・ロサド警察長官は、16丁の銃火器と弾薬、3.3kgの大麻と997グラムのコカインを押収したと述べた。今回押収された銃器類は国立科学捜査研究所に送られ、過去の犯罪との関連性について分析し、その結果に基づいて捜査が行われる予定である。

5月26日[**違法薬物の密輸**] 午前9時頃、カリフォルニア州在住の販売員の男性（31歳）がベリーズに大麻を持ち込んだ容疑で出廷した。事件は、5月23日にフィリップゴールドソン国際空港へ到着した被告男性の手荷物の中から大麻草が見つかったことにより逮捕、起訴された。法廷で被告男性は、大麻草を所持していたことを認めBZ\$1,500（約10万8千円）の罰金刑が科せられたが、被告男性は支払うことができずベリーズ中央刑務所への3ヵ月間の服役が命じられた。

## [その他事件・事故関連]

5月12日[**アメリカ人観光客が溺死（当館注目）**] 午前8時頃、ノースカロライナ州在住のアメリカ人男性（45歳）がライトハウス・リーフで遊泳中に死亡する事件が発生した。警察によると、死亡した男性はダイビングツアーに参加していた認定ダイバーであったが、いつの間にかグループからいなくなり、その後ダイビングポイントから約36メートル離れた海上で心肺停止の状態で見つかった。警察は、事件性はないとしつつも捜査の一環として検死を行う予定である。